

# みんないっしょ みんなで子育て

～社会的養護が必要な子どもたち～



## はじめに

この小冊子は、社会的養護が必要な子どもたちについて、多くの方に関心をもっていただくことを目的に作られました。

前半の「みんないっしょ」は、大人が「社会的養護が必要な子ども」について、子どもたちに伝えていくときの「きっかけ」として利用できるように、絵本にしてみました。

後半には関連する団体の情報を掲載しました。募集内容に関心を持たれた方はどうぞご参加下さい。

NPO法人バディチーム

## 目次

みんないっしょ .....	1
社会的養護が必要な子どもたちについて .....	14
施設でのボランティア募集情報 .....	15
日向ぼっこ(団体紹介) .....	18
ブリッジ・フォー・スマイル(団体紹介) .....	19
東京養育家庭の会、里親子支援のアン基金プロジェクト(団体紹介) .....	20

# みんないっしょ





いぬ  
犬のワンちゃんは、  
いぬ とう かあ  
犬のお父さんとお母さんと  
いっしょにくらしています。



ねこのニャンちゃんは、  
ねこのお母<sup>かあ</sup>さんと  
いっしょにくらしています。



くまのクウくんは、  
くまのお父<sup>とう</sup>さんと  
いっしょにくらしています。



ひつじのメリーちゃんは、  
うまのお父<sup>とう</sup>さんとお母<sup>かあ</sup>さんと  
いっしょにくらしています。



きりんのきいちゃんは、<sup>おお</sup>大きなおうちで  
<sup>せんせい</sup>先生と<sup>とも</sup>お友達といっしょです。

<sup>せんせい</sup>先生は、<sup>とう</sup>お父さんや<sup>かあ</sup>お母さん、  
<sup>にい</sup>お兄さんや<sup>ねえ</sup>お姉さんのようにしていっしょにくらしています。



みんなはそれぞれちがったらしをしています。  
でも、みんないっしょ。

みんなはそれぞれ大きくなって  
きょうはおたんじょう日会です。  
(おしまい)

## 社会的養護が必要な子どもたち

親のいない子どもや、親がいても様々な事情により家庭で生活できない子どもたちを家庭に代わって公的に育てる仕組みを「社会的養護」とよんでいます。

社会的養護が必要な子どもたちは全国で約4万人いるといわれています。その理由としては、親の死亡、病気、行方不明、経済的な問題などであり、そして近年増えているのが親から子への虐待によるものです。

子どもたちの多くは、児童養護施設をはじめとする施設で暮らしていて、家庭的養護といわれる里親家庭で暮らす子どもは1割にも及びません。

そして子どもたちは、他の子どもたちと同じように、保育園や幼稚園、学校などに通っています。

子どもたちは、日常的に偏見をもたれ、差別を受けることもあります。

また、大人になっていく過程で様々なハンディを抱えて生きていくことになります。

そしてハンディを抱えながらも18歳になると自立をしなければなりません。

日本の現状では児童福祉の予算は少なく、子どもたちを養育する施設や里親制度も十分な体制とはいえず、問題や課題がたくさんあります。

「社会的養護が必要な子どもたちに」については、社会で、みんなで考えていくことが必要です。

### 施設養護

施設名	対象児童	児童現員
乳児院	乳児（保健上、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合は幼児を含む）	3,190人
児童養護施設	保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童（安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には乳児を含む）	30,846人
情緒障害児短期治療施設	軽度の情緒障害を有する児童	1,151人
児童自立支援施設	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童	1,889人
自立援助ホーム	義務教育を終了した児童であって、児童養護施設等を退所した児童等	236人

※社会福祉施設等調査報告（平成19年10月1日現在）

### 家庭的養護

里親制度	保護者のない児童または保護者に監護されることが不相当であると認められる児童の養護を都道府県が里親に委託する制度	委託児童数 3,633人
------	---	-----------------

※福祉行政報告例（平成19年度末現在）

## 児童養護施設でのボランティア募集案内

社会福祉法人 光明会 **杉並学園**

東京都杉並区宮前 3-10-8

<http://members3.jcom.home.ne.jp/suginamigakuen/home.html>

### 募集内容

- ピアノを指導してくれる方
- スポーツ（バドミントン・バレー）の相手をしてくれる方

**ご連絡先** ■ TEL 03-3332-2567 ■ FAX 03-3334-7905

施設長：丸山 徹

お問い合わせ、ご応募は直接施設へご連絡下さい。

## 児童養護施設でのボランティア募集案内

### 社会福祉法人 **カリヨン子どもセンター**

東京都文京区関口 2-4-6 関口台ヴィレッジ B-2  
<http://www.carillon-cc.org/>

#### 募集内容

- 生活援助ボランティア（料理、掃除等）※昼間、及び宿泊
- 学習ボランティア ※中卒・高卒認定試験及び大学進学等

ご連絡先 ■ TEL 03-5981-5581 ■ FAX 03-5981-5582

担当：坪井 花梨

### 自立援助ホーム 社会福祉法人 青少年福祉センター **新宿寮**

東京都新宿区中落合 1-6-22  
<http://www.wfc.or.jp>

#### 募集内容

- 夕食づくり（16時～19時、15名分程度）※夕食も子ども達と一緒に食べられます

ご連絡先 ■ TEL 03-3951-9650 ■ FAX 03-3951-9657

担当：山崎

### 児童自立援助ホーム **マラナ・タ ハウス**

東京都国立市並木町 2-29-16

#### 募集内容

- 食事作り（夕食）
- 掃除全般
- 日曜日 11時～17時の間、子どもたちと過ごしていただける方（補助です）

ご連絡先 ■ TEL 042-325-5460 ■ FAX 042-325-5460

担当：宇佐神 うさみ 望

### 自立援助ホーム 社会福祉法人 青少年福祉センター **清周寮**

東京都足立区保木間 2-18-5  
<http://www.wfc.or.jp>

#### 募集内容

- 夕食づくり（16時～19時、15名分程度）※夕食も子ども達と一緒に食べられます

ご連絡先 ■ TEL 03-3850-8573 ■ FAX 03-3850-8509

担当：大屋

お問い合わせ、ご応募は直接施設へご連絡下さい。

お問い合わせ、ご応募は直接施設へご連絡下さい。

## 団体紹介

### NPO法人 社会的養護の当事者参加推進団体 **日向ぼっこ**

社会的養護の当事者参加の実現や孤立防止を目指して集まった当事者グループ。  
2006年3月に児童養護施設で生活していた人を中心に4人で結成し勉強会を重ね、2007年4月に社会的養護の下で生活した人が気軽に集まれるサロンを開設。  
社会的養護の下で暮らしていた人がハンディを感じなくてすむように、孤立してしまわないように、当事者の声が政策や現場で取り入れられるように、具体的な取り組みやネットワークづくりを目標として活動している。

#### 主な活動内容

- 普段の日向ぼっこサロンでは、おしゃべりをしたり、ごはんを一緒に作って食べたりしています。月に数回、スポーツ系や食べ物系イベント、リクエストによる企画などのお楽しみイベントも開催しています。
- 困難な状況に直面した方と一緒に、仕事や社会的資源を探すお手伝いもします。
- 社会的養護のケアに関して真剣に話し合う勉強会や座談会も開催しています。集まった声を行政や援助者・市民の方々に届ける取り組みにも力を入れています。

#### 賛助会員募集中です！

雑貨や食品、本、衣服、家具など金銭以外のご支援も承っております。ご支援いただく前にご一報いただくと幸いです。

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-12-2 瑞穂ビル 302 **【日向ぼっこサロンの開催日】**  
TEL/FAX : 03-5684-0977 月～土曜日 16時～21時 (水曜日はお休み)  
Mai : hinatabokko2006@gmail.com 日曜日 11時～17時  
HP : <http://hinatabokko2006.main.jp>



「施設で育った  
子どもたちの居場所  
『日向ぼっこ』と社会的養護」

明石書店

### NPO法人 **ブリッジ・フォー・スマイル**

私たちは、日本の子どもたちがどんな環境で生まれ育っても、素晴らしい人生を生きる可能性をあきらめず、夢と希望を持って笑顔で暮らしてほしいと願っています。  
児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが、「自分の努力と周りの人の支えがあれば、自分のハンディキャップは乗り越えられる。失敗してもやり直せばいい」と、勇気を持てるような支援をカタチにしています。

#### 主な活動内容

##### ■ ミッション

私たちは、次の3つの活動を通して、児童養護施設で生活する子ども達を支援することを使命としています。

**自立支援**：社会に巣立つ子ども達が健全に自立できるよう支援します。

**啓発活動**：子ども達を取り囲むこの社会が児童養護への関心を高めるよう活動します。

**施設支援**：子ども達を育てる施設が子ども達によりよい環境を提供できるよう支援します。

##### ■ 自立支援事業

ひとり暮らしの準備をサポート！巣立ちプロジェクト

退所者を応援！アトモプロジェクト

中高生の職業体験！ジョブプラス

施設で開催！出張セミナー

住まいで進学をサポート！スマイリングプロジェクト

##### ■ 募集中

賛助会員、ボランティア、募集中です。

〒100-8228 東京都千代田区大手町 2-6-4 (株式会社バソナグループ内)  
TEL : 03-4590-9097  
Mail : [info@b4s.jp](mailto:info@b4s.jp)  
HP : <http://www.b4s.jp>

児童養護施設から社会へ巣立つ子どもたちを応援します！

## 団体紹介

### NPO法人 東京養育家庭の会

東京都の養育家庭制度（里親制度）における、養育家庭（ほっとファミリー）を中心とした、里親・里子のための NPO 法人です。社会的擁護の必要な子どもに対して ■より良い養育・養護の実践 ■養育家庭制度の充実 ■地域社会での理解増進、などに取り組んでいます。「どの子ども家庭環境で等しく、健やかに成長し、自立する権利」を保障することを目的としています。各種団体や、養育家庭制度に関心のある方々、東京都をはじめ各関係機関と協力しながら、未来ある子どもたちが、健やかに安心して成長できる環境作りを目指します。

#### 主な活動内容

里親・里子同士の交流、里親研修の開催、お互いに助け合うシステム作り、機関誌の発行、里親や子どもの福祉に関する情報収集

〒162-0052 東京都新宿区戸山 3-17-1 児童相談センター養育家庭連携室  
TEL : 03-3208-1391  
FAX : 03-3208-1392  
HP : <http://tokyo-yoikukatei.jp/>

### NPO法人 里親里子支援アン基金プロジェクト

里親になろうとする人、里親、里親OB、里子、里子OB を支え、援助し、社会に里親制度を広めることを目的として主に二つの分野で活動しています。

■里親、里子支援：里子OB対象の自立支援事業、里親のレスパイト、研修事業などがあり、里子たちが同じ立場の者同士、精神的心理的にお互い助け合えるようになるため、さらに応援していきます。

■里親制度の普及、啓発活動：広報誌発行、体験語り活動、体験記録出版活動等。また国、地方自治体に、里親制度の向上、社会的養護の子どもたちには、まず第一に家庭的養護を、そのために必要な手立てを、と訴えています。

#### 主な活動内容

アン基金（里子自立支援資金）の運営、子育て研修、里親体験記録  
メンター（ベテラン里親）による里親家庭訪問

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-10-13-302  
TEL/FAX : 03-5840-9515  
E-mai : [ankikipn@royal.ocn.ne.jp](mailto:ankikipn@royal.ocn.ne.jp)  
HP : <http://members.jcom.home.ne.jp/ankikin/>

### NPO法人バディチーム [www.buddy-team.com](http://www.buddy-team.com)

子育て支援、子ども虐待防止を目的に、一般の子育て家庭や様々な事情により子育てに困難を抱える家庭（親や子の心身の不調、病気、虐待疑い等）に伺い、家事・保育・話し相手などを行い、親子に寄り添う支援活動のほか、託児、研修講座事業を行っています。

また、平成 21 年度よりモデル事業としての里親家庭支援事業が始まりました。親子に寄り添う支援活動を行う子育てパートナーを募集中です。

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28-426  
TEL : 03-6457-5312  
FAX : 03-3268-8733  
[honbu@buddy-team.com](mailto:honbu@buddy-team.com)

### 公益信託オラクル有志の会

日本オラクル株式会社の役員有志が個人資産を抛出し、三菱 UFJ 銀行を受託者として、2002 年 4 月に設立された公益信託です。

コミュニティの一員として積極的に社会貢献活動に参加し、様々な面で支援を必要としている人たちを応援することを目的に真摯に活動している東京都内に事務所を置き都内でボランティア活動を行う特定非営利活動法人やボランティア団体を経済的にサポートしています。



みんないっしょ みんなで子育て

～社会的養護が必要な子どもたち～

発行日	2010年2月
編著者	NPO法人バディチーム
絵	川渕恵子 (keiko)
発行者	公益信託オラクル有志の会

※この小冊子は公益信託オラクル有志の会ボランティア基金により製作されました。